

次号予告

特集 近未来からのORへの要請

ビジネスにおける近未来の課題とORへの要請

.....金巻龍一 (アイ・ビー・エムビジネスコンサルティングサービス)

憲法改正問題へのOR的アプローチの要請鳩山由紀夫 (衆議院議員)

鉄道における近未来の課題とORへの要請奥村文直 (鉄道総合技術研究所)

エネルギー産業の課題とORへの期待前田忠昭 (東京ガス)

医療・福祉分野から越河六郎 (松蔭大学)

座談会「ORはどう応えるべきか」

編集後記

●最近「皇寿」という言葉を複数のメディアで見聞きした。111歳の異称だが、漢字を組み合わせた言葉遊びともいえるその由縁に思わずニヤリとしつつ、先人達の想像力の豊かさには感服するばかりである。総務省の推計によると、80歳以上の人口が700万人を超えたらしい。私個人は皇寿を祝う機会にまだ恵まれていないが、皇寿のお祝いが珍しくない社会(?)に着実に近づいていると思うと心境は複雑である。

●文化庁が発表した06年度の「国語に関する世論調査」では、漢字が書けない時に調べる手段として「携帯電話の漢字変換」の割合が高く、20代では8割に達するらしい。私も何度かお世話になっているが、出先などで手軽に調べるのに重宝する。コンピュータのささやかな恩恵といったところだが、変換された漢字

の正誤くらいは判断できるようにしておきたい(自戒の念を込めて)。

●今月号の特集は「自然言語とコンピュータ」である。大量テキストを基にした自然言語処理の最前線について様々な側面から論じている。門外漢の私にとってどれも興味深い内容である。特に、統計的機械翻訳の結語にある「コンピュータがプロの翻訳家を超える日」を私も楽しみにしている。そして、英語の呪縛から一刻も早く解放して欲しい。

●因みに50歳は「艾年」とのこと。「艾」はよもぎ(もぐさ)を意味しており、よもぎに見られる細かな毛のように髪が白くなる年齢を意味している。創立50周年を迎えた本学会の髪は何色だろうか。

(渡邊 勇)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 山下英明(首都大学東京)

委員 池上敦子(成蹊大学)、岡野裕之(日本アイ・ビー・エム株)、栗田佳文(防衛省)、高野正次(日本電信電話株)、齋藤彰一(株構造計画研究所)、高嶋隆太(東京大学)、高橋一喜(東京ガス株)、田島博之(秀明大学)、田村一軌(財鉄道総合技術研究所)、田村亮二(キヤノンシステムソリューションズ株)、豊泉 洋(早稲田大学)、生田目崇(専修大学)、根本俊男(文教大学)、廣津信義(順天堂大学)、増田浩通(東京工業大学)、村井雅彦(株東芝)、渡邊 勇(財電力中央研究所)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成19年11月号 第52巻 第11号 通巻563号

代表者 青木利晴

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032
<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 山下英明

発売所 株式会社 日科技連出版社
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)へ